

空知信用金庫・第147回地域企業景気動向調査

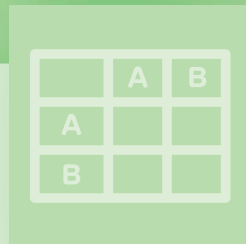
景況レポート

2023.4

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和5年1月～3月の景気の現状と令和5年4月～6月の見通しを調査したものです。

令和5年4月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話 (0126) 22-1171



第147回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和5年1月～令和5年3月期（実績） 令和5年4月～令和5年6月期（予想）
令和5年3月1日～3月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものだ。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

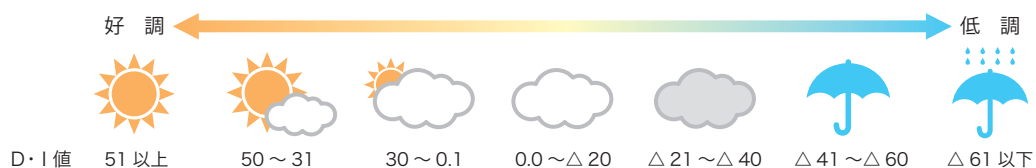
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区 分	調 査 対 象 企 業	有 効 回 答 数	有効回答率 (%)
製 造 業	24	23	96
卸 売 業	14	14	100
小 売 業	57	54	95
サ ー ビ ス 業	32	30	94
建 設 業	43	43	100
不 動 産 業	7	7	100
運 輸 業	17	17	100
農 業	28	27	96
計	222	215	97

6. 天気図の見方

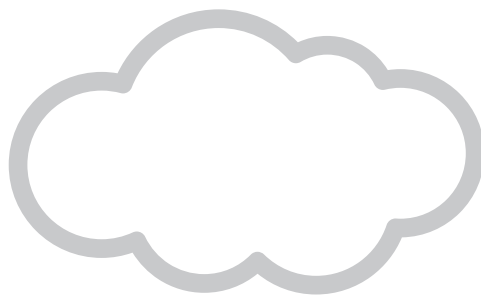
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「中小企業におけるデジタル化への対応について」

総合



概況

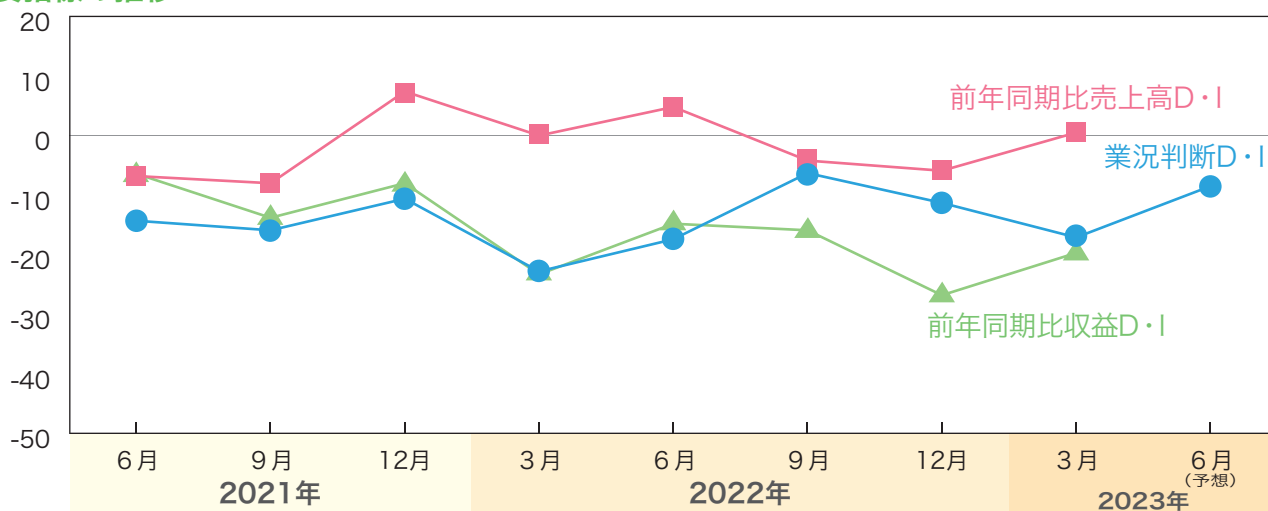
指標は小幅悪化が継続 今後の経済動向に注視

今期の業況判断指数（D・I値）は、△17.1と前期（10月～12月）より5.8ポイント悪化し、マイナス圏内は13期連続となりました。全8業種中、製造・運輸業で改善、不動産・農業では維持、残りの4業種は悪化となりました。売上高D・Iは0.5と前期比6.4ポイント改善しましたが、製造・農業では10ポイント以上悪化しました。収益D・Iは△19.7と前期比7.1ポイント改善しましたが、不動産業・農業では悪化しております。

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数（D・I値）は△8.5と今期実績比8.6ポイントの改善が見込まれます。業種別では、8業種中、不動産・農業で悪化、製造業で横這い、残りの5業種はやや改善の予想です。幅広い業種で、人手不足・諸経費の増加が指摘されており、下振れリスクが懸念されます。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	39.1	43.5	17.4	17.4
卸 売	42.9	64.3	50.0	35.7
小 売	36.4	39.6	31.4	27.7
サービス	10.0	20.7	10.0	16.6
建 設	34.9	25.6	30.2	34.8
不 動 産	14.3	—	0.0	—
運 輸	17.6	35.3	23.5	11.7
農 業	△11.1	15.4	7.4	18.5

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	73.9	69.6	43.5	43.5
卸 売	71.4	71.4	57.1	42.9
小 売	60.0	56.6	53.7	37.0
サービス	36.7	65.5	50.0	46.7
建 設	81.4	69.8	58.1	53.5
不 動 産	14.3	—	28.6	28.6
運 輸	100.0	70.6	52.9	35.3
農 業	48.1	73.1	66.7	51.9

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△26.1	△30.4	△17.4	△21.7
卸 売	△42.9	△35.7	△35.7	△28.6
小 売	△14.5	△20.8	△14.8	△16.7
サービス	△30.0	△38.0	△40.0	△33.3
建 設	△27.9	△46.5	△34.9	△41.9
不 動 産	△14.3	△14.3	△14.3	△14.3
運 輸	△52.9	△52.9	△58.8	△58.8
農 業	—	—	—	—

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△17.4	8.7	△4.4	0.0
卸 売	—	—	—	△7.1
小 売	△3.7	△1.8	△3.7	1.8
サービス	△3.4	20.7	6.7	6.7
建 設	4.7	2.3	△9.3	2.3
不 動 産	—	—	—	—
運 輸	0.0	△5.9	△11.8	△5.9
農 業	—	—	—	—

○借入金の動き・難易度

(%)

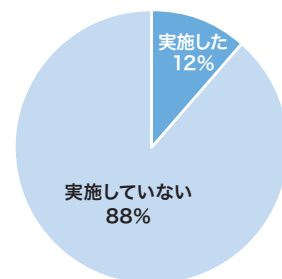
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難しい	該当なし
製 造	4.3	4.3	13.0	65.2	8.7	13.1
卸 売	21.4	21.4	21.4	78.6	—	—
小 売	18.5	5.6	3.7	70.4	9.3	16.6
サービス	13.3	17.2	10.0	83.3	—	6.7
建 設	18.6	16.3	32.6	51.2	7.0	9.2
不 動 産	—	14.3	—	57.1	—	42.9
運 輸	29.4	29.4	11.8	64.7	17.6	5.9

○設備投資の動き

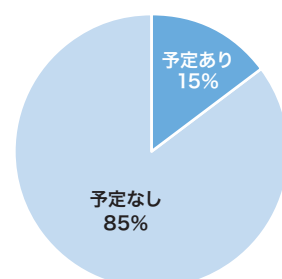
(%)

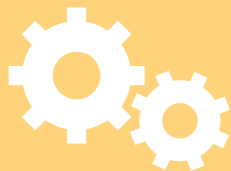
	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	4.3	13.0	4.3	13.0
卸 売	28.6	35.7	21.4	21.4
小 売	7.3	17.0	7.4	5.6
サービス	3.3	13.8	10.0	16.7
建 設	9.3	25.6	16.3	20.9
不 動 産	—	—	—	—
運 輸	11.8	—	17.6	23.5
農 業	7.4	15.4	—	3.7

2023年1月～3月期
設 備 投 資

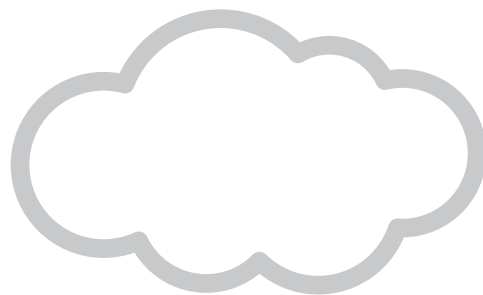


今後3ヶ月以内
設 備 投 資 計 画





製造業



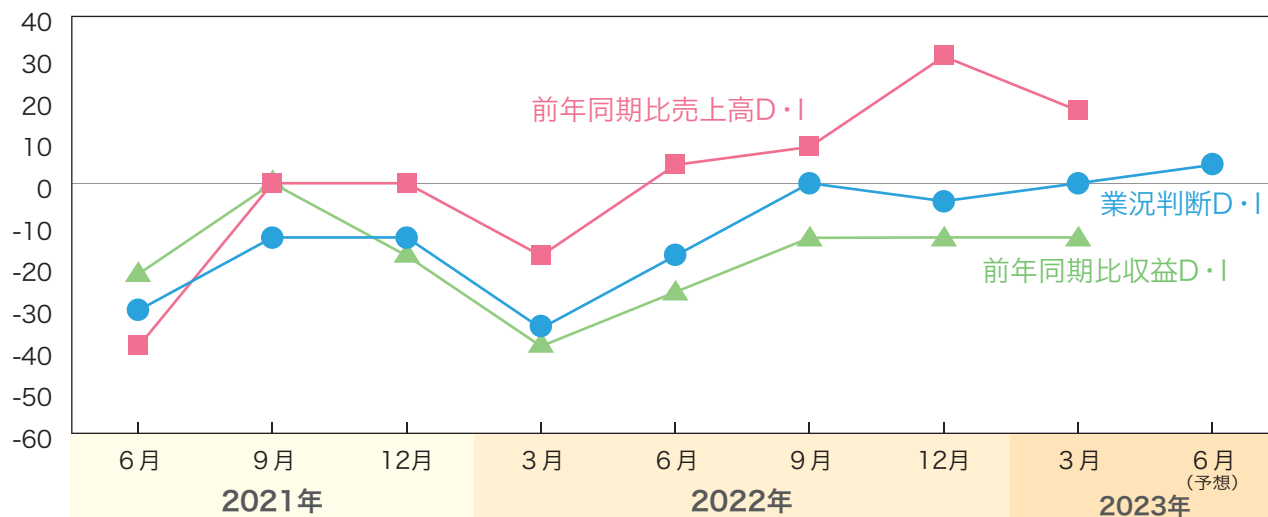
概況

今期の業況判断指数(D・I値)は、0.0と前期(10月～12月)に比べ4.3ポイント改善しました。出版印刷・金属製品・建設用金属製品製造業でやや改善、窯業土木製品製造業では下降となりました。売上D・I値は17.4ポイントとなり前期比13.0ポイント悪化、特に食料品・窯業土木製品製造業で下降しました。収益D・I値は△13.0ポイントと横這いで推移し、マイナス圏は続きました。

来期の見通しについて

窯業土木製品製造業でやや改善、他の業種では現状維持の予想見込みで、今期実績よりやや好転の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・ 定着性のある地元従業員の採用に苦労している。
- ・ 設立時の設備が一部更新時期を迎え、輸入機械なので導入時期を検討している。
- ・ 業種からインボイス制度はあまり影響ない。現在、商品価格改定を進めているが、原材料高騰は痛手。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 52.2%	原材料高 65.2%
第2位	工場・機械の狭小・老朽化 43.5%	売上の停滞・減少 30.4%
第3位	人手不足 30.4%	人手不足 工場・機械の狭小・老朽化 26.1%

(複数回答)

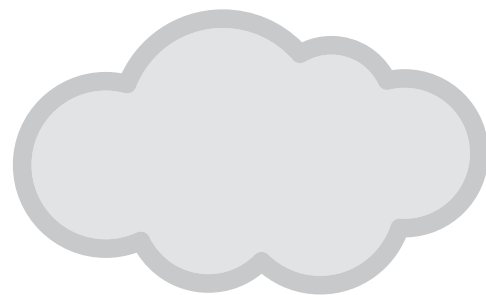
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 56.5%	販路を広げる 47.8%
第2位	販路を広げる 47.8%	経費を節減する 人材を確保する 39.1%
第3位	人材を確保する 39.1%	情報力を強化する 21.7%

(複数回答)



卸売業



概況

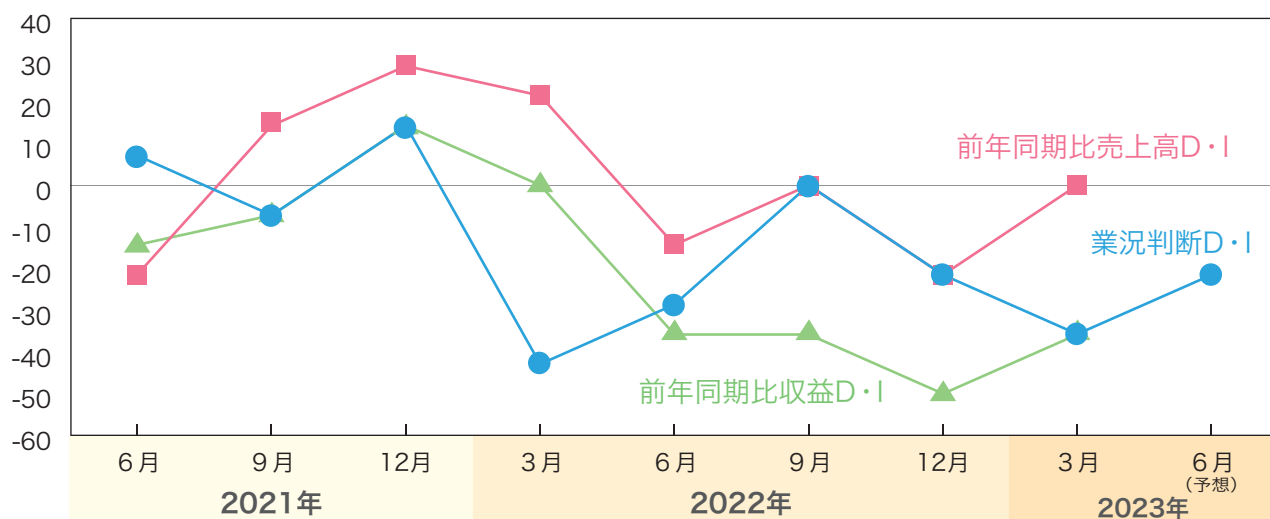
今期の業況判断指数（D・I値）は、△35.7と前期（10月～12月）に比べ14.2ポイント悪化しました。食料・飲料、建築材料卸売業での悪化が押下げ要因となりました。売上D・I値は△21.5ポイント改善、仕入価格上昇分ほどは価格転嫁できていないものの、確実に回復傾向がうかがわれます。収益D・I値は△14.2ポイント改善されましたが、諸経費の負担が継続しており、全体では低調な業況となりました。

来期の見通しについて

食料・飲料品卸売業で改善を見込み、その他の業種では前期並み水準を予想するも、比較的低調な業況が継続される見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△42.9	△21.5	△35.7	△21.5
売上高D・I	21.5	△21.5	0.0	—
収益D・I	0.0	△50.0	△35.8	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・原材料の高騰に不安を感じる。
- ・大型工事の減少により、減収見通し。（建築資材卸売業で他に数社が同様のコメント）
- ・仕入価格上昇しているが、販売価格への転嫁で対応している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 50.0%	人手不足 売上の停滞・減少 42.9%
第2位	人手不足 35.7%	仕入先からの値上げ要請 取引先の減少 35.7%
第3位	仕入先からの値上げ要請 28.6%	

（複数回答）

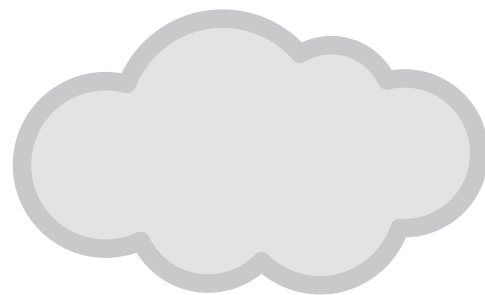
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 50.0%	販路を広げる 71.4%
第2位	経費を節減する 35.7%	人材を確保する 50.0%
第3位	人材を確保する 28.6%	経費を節減する 35.7%

（複数回答）



小売業



概況

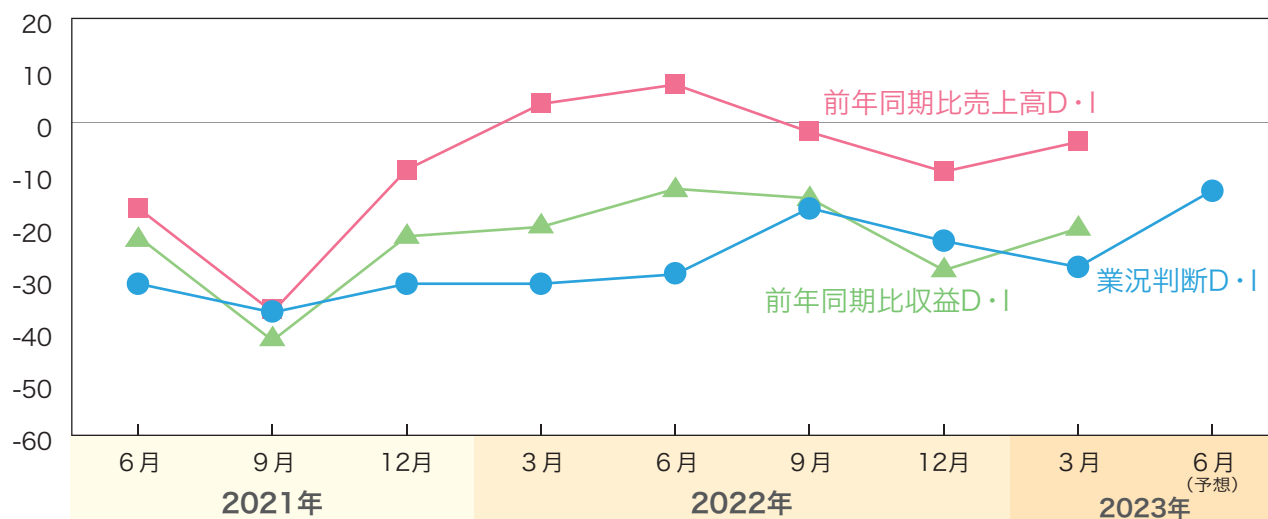
今期の業況判断指数（D・I値）は、△27.7と前期（10月～12月）に比べ5.0ポイント悪化し比較的低調な業況でした。家庭用機械、燃料・その他の小売業で改善、飲食品・飲食店・医薬品・スポーツ用品小売業でやや下降しました。売上D・I値及び収益D・I値は、新型コロナウイルスの減少により消費拡大の好影響を受け改善しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△30.9	△22.7	△27.7	△13.0
売上高D・I	3.6	△9.4	△3.7	—
収益D・I	△20.0	△28.3	△20.3	—

来期の見通しについて

衣料品・飲食店・自動車・医薬品化粧品小売業で改善、燃料・その他小売業で悪化が見込まれますが、全体では今期実績よりもやや改善の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・世間はアフターコロナに移行しているものの、コロナ禍中に常識となった人付き合い方式により、商機再興の道が閉ざされている。
- ・売上減少傾向であるが、内部留保十分にあり、当面の資金繰りは問題ない。
- ・仕入価格の上昇分まで、販売価格へ転嫁できていない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減少 54.5%	商圏人口の減少 53.7%
第2位	売上の停滞・減少 49.1%	売上の停滞・減少 44.4%
第3位	人手不足 21.8%	人手不足 利幅の縮小 20.4%

(複数回答)

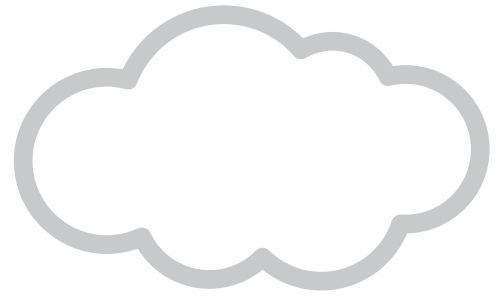
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 58.2%	経費を節減する 57.4%
第2位	売れ筋商品を取扱う 25.5%	人材を確保する 29.6%
第3位	人材を確保する 23.6%	売れ筋商品を取扱う 25.9%

(複数回答)



サービス業



概況

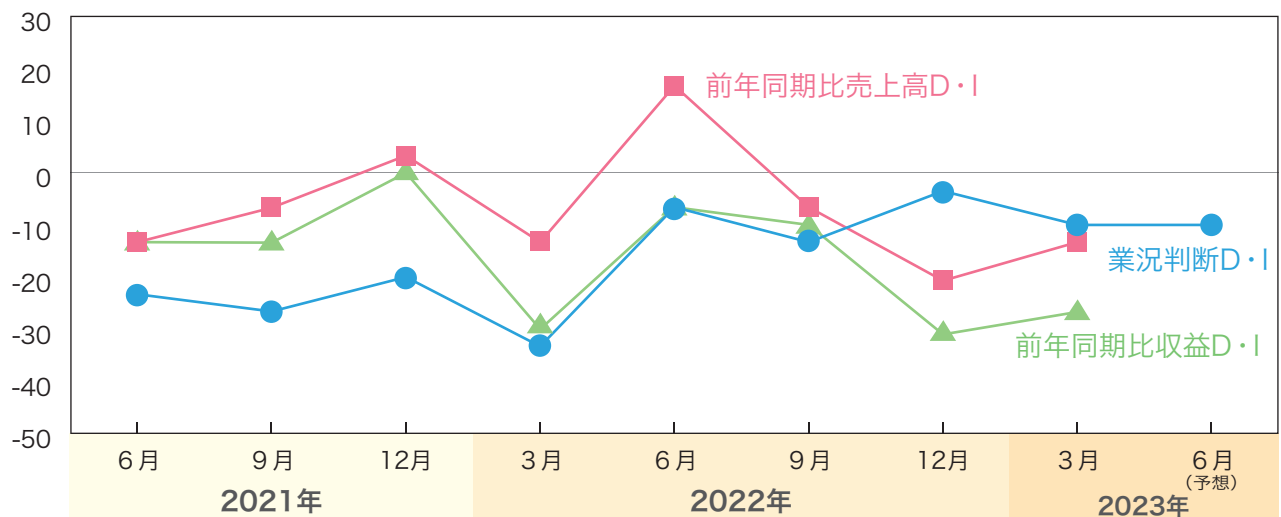
今期の業況判断指数（D・I値）は、△10.0と前期（10月～12月）に比べ6.5ポイント悪化しました。全体では横這いでしたが、自動車整備及びその他のサービス業において下降したことが、押下げ要因となりました。売上D・I値、収益D・I値はやや改善しましたが、回復幅は弱く、仕入価格上昇への対応や人手不足D・I値が高止まりし、人件費の上昇圧力が加わっていると思われ、冴えない業況が続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△33.3	△3.5	△10.0	△10.0
売上高D・I	△13.3	△20.7	△13.3	—
収益D・I	△30.0	△31.0	△26.7	—

来期の見通しについて

洗濯・理容・浴場業及びその他サービス業で好転、自動車整備業で下降、その他の業種は横這いを見込んでおり、全体では現状維持の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・デジタル化への対策は、会計事務所からのアドバイスを基に進めている。
- ・業況安定しているが、後継者、若い社員おらず、人材確保に不安がある。
- ・業況良好。（車両修理・整備が多かった）

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減小 40.0% 売上の停滞・減少 40.0%	人手不足 40.0% 商圏人口の減小 40.0%
第2位	人手不足 30.0%	材料価格の上昇 26.7%
第3位	材料価格の上昇 20.0% 同業者間の競争の激化 20.0%	同業者間の競争の激化 23.3% 売上の停滞・減少 23.3%

（複数回答）

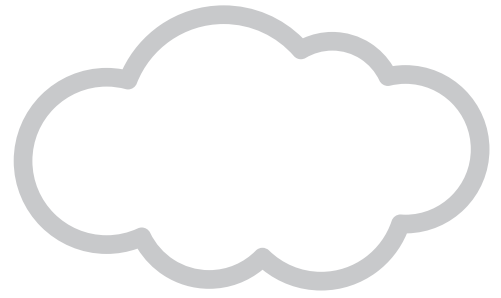
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 60.0%	経費を節減する 43.3% 販路を広げる 43.3%
第2位	販路を広げる 36.7%	人材を確保する 40.0%
第3位	人材を確保する 23.3%	技術力を強化する 20.0%

（複数回答）



建設業



概況

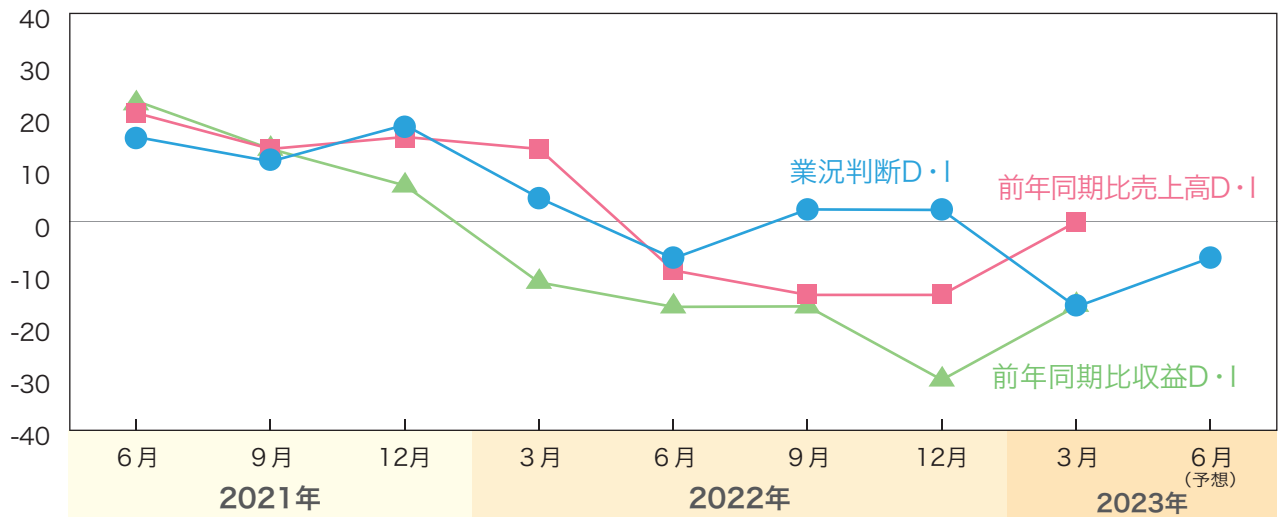
今期の業況判断指数（D・I値）は、△16.3と前期（10月～12月）から18.6ポイント悪化しました。設備工事業は現状維持、総合工事・職別工事業で大きく下降し、マイナス圏内となりました。売上高D・I値から、仕入価格上昇分に対する価格転嫁の動きはうかがわれますが、収益D・I値より、採算水準の改善は見えるものの、上昇分を吸収しきれず、人件費等のコスト増加が反映されていると推察されます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	4.6	2.3	△16.3	△6.9
売上高D・I	14.0	△14.0	0.0	—
収益D・I	△11.6	△30.3	△16.2	—

来期の見通しについて

職別工事・設備工事業で改善、総合工事業でやや下降を予想しており、今期実績よりもやや改善する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・業況は安定している。インボイス制度、電子帳簿保存法対応を検討中。
- ・P4/3期赤字決算を反省し、今期経費を削減し黒字計上を見込んでいる。
- ・リフォーム需要が減った。材料（木材）の更なる高騰が心配。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	材料価格の上昇 51.2%	材料価格の上昇 58.1%
第2位	人手不足 34.9%	人手不足 51.2%
第3位	同業者間の競争の激化 20.9%	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化 利幅の縮小 20.9%

（複数回答）

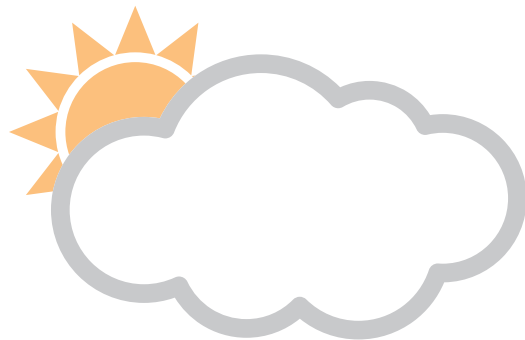
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 53.5%	人材を確保する 60.5%
第2位	人材を確保する 44.2%	技術力を強化する 経費を節減する 48.8%
第3位	販路を広げる 30.2%	販路を広げる 25.6%

（複数回答）



不動産業



概況

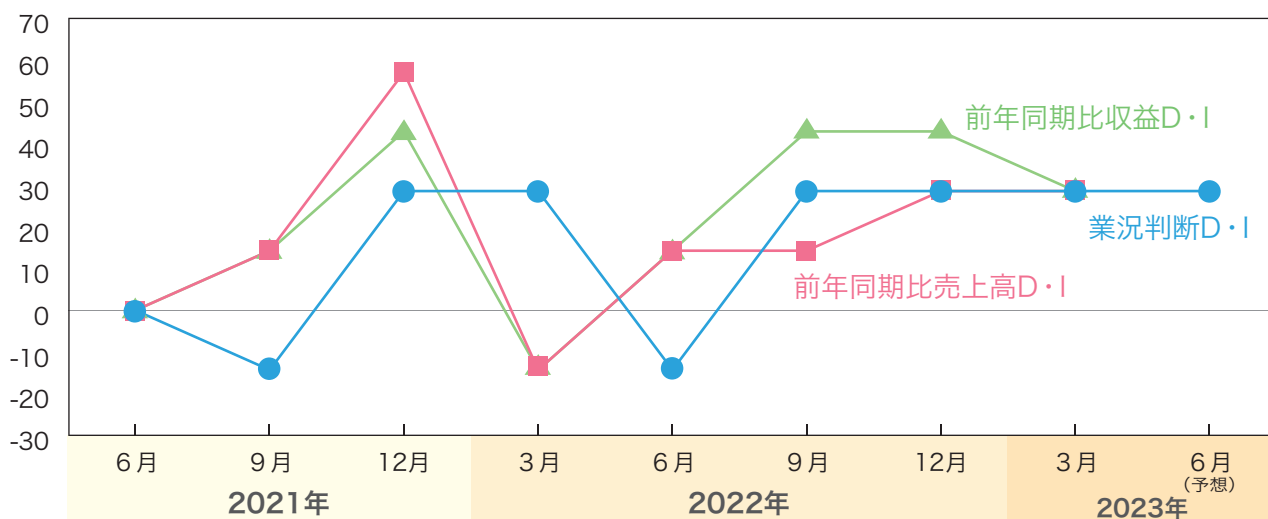
今期の業況判断指数(D・I値)は、28.6と前期(10月～12月)と変わらず、比較的好調な業況が維持されました。前期に続いて、貸家業及び不動産代理・仲介業が好調でした。売上高D・I値は28.6と高止まり傾向にあり、収益D・I値も不動産・仲介業で下降した影響を受けましたが、高水準は維持されました。

来期の見通しについて

不動産代理・仲介業及び貸家業では、春の異動時期を迎え改善を見込み、その他業種では現状維持を見込んでおり、全体では安定した業況の見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	28.6	28.6	28.6	28.6
売上高D・I	△14.3	28.6	28.6	—
収益D・I	△14.3	42.9	28.6	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・コロナ禍による影響はあまりない。
- ・不動産賃貸は立地条件良好で、高稼働で推移している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 42.9%	商品物件の縮少 商品物件の高騰 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 問題なし 28.6%
第2位	商品物件の縮少 同業者間の競争の激化 問題なし 28.6%	

(複数回答)

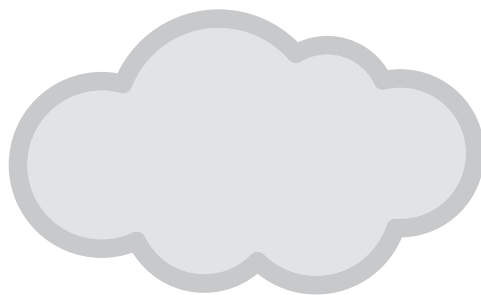
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 42.9%	販路を広げる 57.1%
第2位	宣伝・広告を強化する 販路を広げる 不動産の有効活用を図る 28.6%	経費を節減する 不動産の有効活用を図る 42.9%
第3位	新しい事業を始める 宣伝・広告を強化する	28.6%

(複数回答)



運輸業



概況

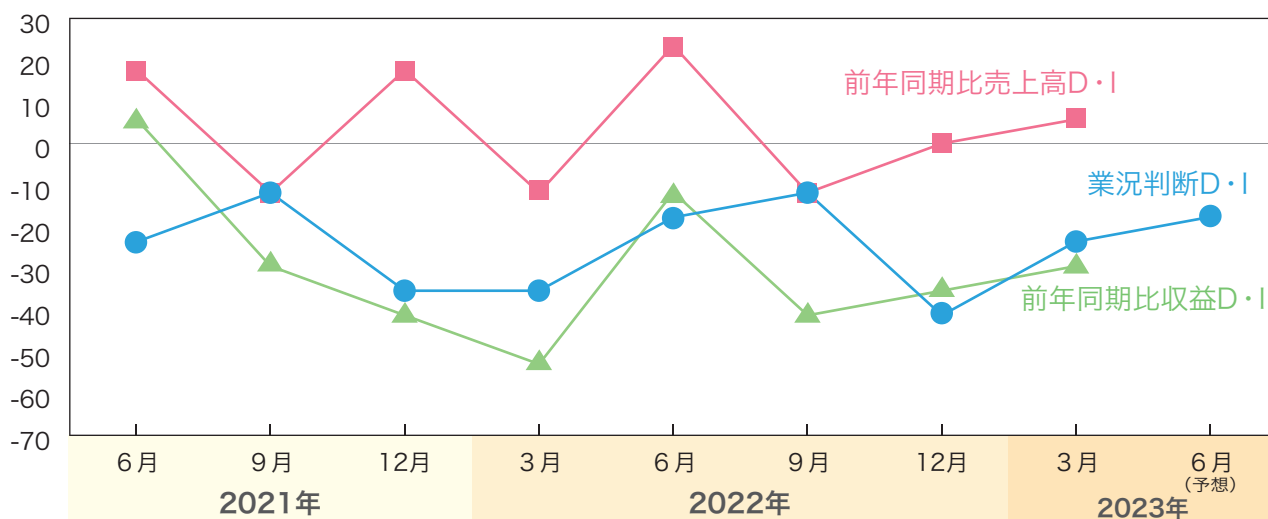
今期の業況判断指数（D・I値）は、△23.5と前期（10月～12月）から17.7ポイント改善し、業況は下げ止まりました。しかし、人流・物流の回復により、ハイヤー等旅客業・貨物自動車・通運業でやや持ち直しが見られたものの、依然マイナス圏内に止まっています。売上高D・I値で5.8ポイント、収益D・I値で5.9ポイント改善しましたが、景況の厳しさは続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△35.3	△41.2	△23.5	△17.6
売上高D・I	△11.8	0.0	5.8	—
収益D・I	△52.9	△35.3	△29.4	—

来期の見通しについて

貨物自動車・通運業は引越需要があり改善、旅客業でやや下降を見込み、全体ではやや改善の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・人手（タクシー運転手）不足が特に経営上の問題である。
- ・行動制限解除による需要増有り。原油高による燃料代高騰の影響により、増収減益である。
- ・新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向であるが、依然として売上は低迷している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	燃料価格の上昇 94.1%	燃料価格の上昇 88.2%
第2位	人手不足 58.8%	人手不足 76.5%
第3位	売上の停滞・減少 35.3%	売上の停滞・減少 29.4%

(複数回答)

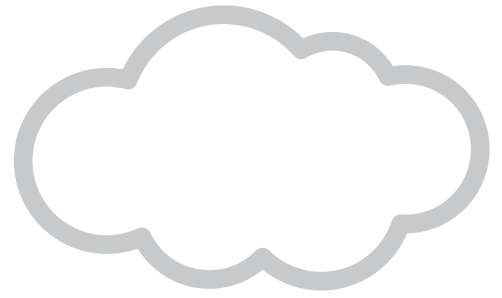
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 82.4%	経費を節減する 76.5%
第2位	販路を広げる 52.9%	販路を広げる 41.2%
第3位	労働条件を改善する 情報力を強化する 29.4%	労働条件を改善する 35.3%

(複数回答)



農業

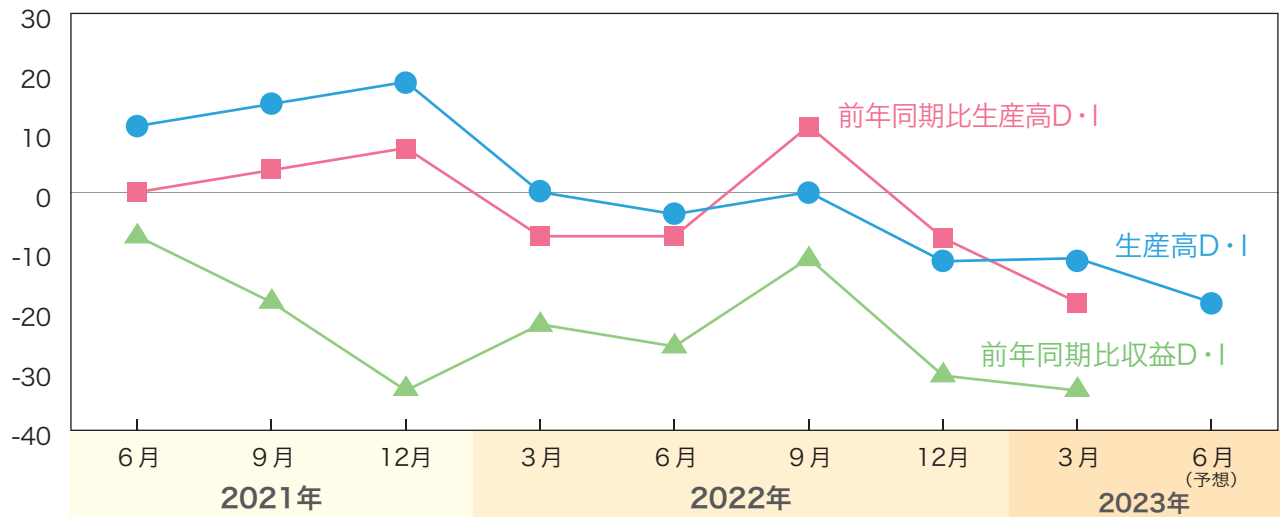


概況

生産高D・I値は、前期比0.5ポイントながら改善しました。2月中旬頃から例年にない気温上昇により、播種等の作業はやや早まりました。玉ねぎ等の生育も順調に進み、4月上旬の定植に向けて状況を見極めながら管理していく見通しです。収益D・Iは△33.3となり前期比2.5ポイント悪化し、8期連続でマイナス圏内となりました。生産コストの増大により、酪農・畜産業においては過去最悪な状況であり、農業全体を通して生産資材の高騰により環境は厳しい状況となっております。水田利活用交付金制度の見直しなどの問題もありますが、生産者は土壌改良や生産コスト抑制の対応、耕畜連携を図るなど、農業経営の安定と地域連携の強化を模索している状況です。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	0.0	△11.6	△11.1	△18.5
前年同期比生産高D・I	△7.4	△7.7	△18.5	—
収益D・I	△22.2	△30.8	△33.3	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・経費増加により、収益性は厳しい状況が続いている。
- ・飼料米、小麦の卸売に活路を求め営業している。
- ・エサ、資材の価格高騰しており、収支圧迫。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	生産者価格の低迷	48.1%	経費の増加	66.7%
第2位	経費の増加	40.7%	生産資材等価格の上昇	48.1%
第3位	人手不足	33.3%	人手不足 生産者価格の低迷	37.0%

(複数回答)

特別調査 中小企業におけるデジタル化への対応について

当金庫が今回実施致しました第147回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）171先について「中小企業におけるデジタル化への対応について」をアンケート調査した結果です。

問1. 2023年10月に開始予定の「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」へ向けて、インボイス（適格請求書）発行事業者への登録申請を求める動きがありますが、貴社ではどのように対応していますか。現在、消費税を納付している「課税事業者」の方は1～3から、消費税の納税免除を受けている「免税事業者」の方は4～8から、それぞれ最もあてはまるものを1つ、選んでお答えください。

課税事業者		免税事業者						
課税事業者	1 既に登録申請を行った	4 既に登録申請を行った						
	2 まだ登録申請をしていない	5 近いうちに登録申請を行う予定						
	3 「インボイス制度」自体がわからない	6 登録申請は行わない予定（免税事業者のまま）						
		7 まだ対応方針は決めていない						
免税事業者		8 「インボイス制度」自体がわからない						
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
課税事業者	1 既に登録申請を行った	69.6%	85.7%	57.4%	60.0%	86.0%	71.4%	69.6%
	2 まだ登録申請をしていない	26.1%	0.0%	25.9%	33.3%	14.0%	14.3%	21.6%
	3 「インボイス制度」自体がわからない	0.0%	7.1%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	1.2%
	小 計	95.7%	92.9%	83.3%	96.7%	100.0%	85.7%	92.4%
免税事業者	4 既に登録申請を行った	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5 近いうちに登録申請を行う予定	0.0%	0.0%	3.7%	3.3%	0.0%	0.0%	1.8%
	6 登録申請は行わない予定（免税事業者のまま）	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	7 まだ対応方針は決めていない	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	14.3%	2.3%
	8 「インボイス制度」自体がわからない	0.0%	7.1%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
	小 計	4.3%	7.1%	16.7%	3.3%	0.0%	14.3%	7.6%

調査事業先の構成比率は、課税事業者92.4%、免税事業者7.6%の割合になっております。課税事業者におけるインボイス制度への対応は、「既に登録申請を行った」が最も多く、全体の69.6%に達しております。業種別では、建設業86.0%で最も高く、以下卸売業85.7%、不動産業71.4%と続きました。一方で、小売業・サービス業では60%以下に止まっております。

免税事業者では、「インボイス制度自体がわからない」が2.9%と最も高く、以下「対応方針を決めていない」2.3%、「近いうちに登録申請を行う予定」が1.8%と続きました。

問2. 電子帳簿保存法（電帳法）が改正され、請求書などに関する電子データを送付・受領した場合には、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。この改正について、貴社の認知度を1～4から、対応を5～9から、それぞれ1つお答えください。

認知度		対 応						
認知度	1 内容までよく知っている	5 対応できている						
	2 意味はある程度わかる	6 一部対応できている						
	3 名前しか知らない	7 対応できていない						
	4 聞いたことがない	8 電子データの授受をしておらず、当社には関係ない						
対 応		9 よくわからない						
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
認知度	1 内容までよく知っている	30.4%	42.9%	16.7%	13.3%	34.9%	28.6%	25.1%
	2 意味はある程度わかる	52.2%	42.9%	48.1%	50.0%	41.9%	71.4%	48.0%
	3 名前しか知らない	17.4%	14.3%	27.8%	30.0%	23.3%	0.0%	23.4%
	4 聞いたことがない	0.0%	0.0%	7.4%	6.7%	0.0%	0.0%	3.5%
対 応	小 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	5 対応できている	26.1%	21.4%	9.3%	3.3%	16.3%	0.0%	12.9%
	6 一部対応できている	26.1%	35.7%	29.6%	33.3%	39.5%	42.9%	33.3%
	7 対応できていない	34.8%	21.4%	38.9%	43.3%	27.9%	28.6%	34.5%
	8 電子データの授受をしておらず、当社には関係ない	13.0%	14.3%	11.1%	10.0%	9.3%	14.3%	11.1%
	9 よくわからない	0.0%	7.1%	11.1%	10.0%	7.0%	14.3%	8.2%
	小 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

電子帳簿保存法に対する認知度については、認知している（内容までよく知っている・意味はある程度わかる）と回答した事業先は73.1%となっております。業種別では、不動産業が100%と最も高く、以下卸売業85.8%、製造業82.6%と続いております。電子帳簿保存法への対応では、対応ができている（対応できている・一部対応できている）と回答した事業先は46.2%となっております。業種別では、卸売業57.1%と最も高く、以下建設業55.8%、製造業52.2%と続きました。一方、設問項目の中では「対応できていない」が34.5%となっており、最も高くなっております。

問3. 貴社では、企業間での資金決済の際、手形をどの程度利用していますか。また、ください（電子記録債権）をどの程度利用していますか。手形については1～5から、でんさいについては6～0から、それぞれ1つお答えください。

手 形		でんさい						
手 形	1 取引の50%以上	6 取引の50%以上						
	2 取引の30%以上～50%未満	7 取引の30%以上～50%未満						
	3 取引の10%以上～30%未満	8 取引の10%以上～30%未満						
	4 取引の10%未満	9 取引の10%未満						
でんさい	5 全く使っていない	0 全く使っていない						
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
手 形	1 取引の50%以上	4.3%	35.7%	3.7%	6.7%	11.4%	0.0%	8.7%
	2 取引の30%以上～50%未満	13.0%	7.1%	3.7%	3.3%	13.6%	0.0%	7.5%
	3 取引の10%以上～30%未満	17.4%	21.4%	7.4%	3.3%	11.4%	12.5%	10.4%
	4 取引の10%未満	4.3%	7.1%	13.0%	10.0%	18.2%	0.0%	11.6%
でんさい	5 全く使っていない	60.9%	28.6%	72.2%	76.7%	45.4%	87.5%	61.8%
	小 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	6 取引の50%以上	4.3%	7.1%	1.9%	0.0%	2.4%	0.0%	2.4%
	7 取引の30%以上～50%未満	4.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
	8 取引の10%以上～30%未満	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	9.5%	0.0%	3.0%
	9 取引の10%未満	4.3%	7.1%	1.9%	13.3%	11.9%	0.0%	7.1%
	0 全く使っていない	87.0%	78.6%	94.4%	86.7%	76.2%	100.0%	86.4%
	小 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

企業間資金決済における手形の利用状況は、「全く使っていない」が61.8%と最も高く、以下「取引の10%未満」11.6%、「取引の10%以上～30%未満」10.4%となっております。利用率が高い業種は、卸売業71.4%、建設業54.6%となっております。でんさいの利用状況は、「全く使っていない」が86.4%と最も高く、利用率は13.6%に止まり、浸透は不十分と推測されます。

問4. 貴社では、これまで行ってきたデジタル化投資（コンピューター、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般）の費用対効果について、どのように感じていますか。1～5から1つお答えください。また、今後のデジタル化投資の計画について、6～9から1つお答えください。

デジタル化投資の満足度		今後のデジタル化投資の計画						
デジタル化投資の満足度	1 大いに満足している	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
	2 やや満足している							
	3 あまり満足していない							
	4 まったく満足していない							
	5 もともとデジタル化投資を実施していない							
今後のデジタル化投資の計画	6 拡充する予定	小 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	7 現状維持の予定							
	8 縮小する予定							
	9 デジタル化投資は行わない							
	小 計							

デジタル化への費用対効果については、「満足している（大いに・やや満足を含む）」と回答した事業先が46.2%で最も高く、以下「満足していない（あまり・全く満足していないを含む）」が30.4%と続き、一方で「投資を実施していない」は23.4%となっております。業種別に「満足している（大いに・やや満足を含む）」を最も高いと回答した業種は製造業56.5%、以下サービス業50.0%、建設業48.8%と続きましました。デジタル化への投資計画では、「現状維持の予定」57.3%と最も高く、以下「拡充する予定」21.1%、「デジタル化投資は行わない」20.5%となっております。

問5. 貴社では、デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。次の1～0の中から最大で3つまでお答えください。

1 費用対効果の把握が困難	6 情報分野に長けた社員の不足
2 技術革新が速すぎて対応しきれない	7 活用方法に関する知識の不足
3 セキュリティの確保への不安	8 経営者・社員が必要と感じていない
4 トラブル発生時の対応が困難	9 その他（ ）
5 導入・維持にかかるコスト負担が大きい	0 特に問題点・課題はない

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 費用対効果の把握が困難	17.1%	11.1%	0.0%	15.2%	17.0%	31.3%	12.4%
2 技術革新が速すぎて対応しきれない	7.3%	7.4%	10.6%	10.6%	11.4%	6.3%	9.9%
3 セキュリティの確保への不安	14.6%	18.5%	11.8%	15.2%	12.5%	12.5%	13.6%
4 トラブル発生時の対応が困難	14.6%	7.4%	15.3%	12.1%	10.2%	12.5%	12.4%
5 導入・維持にかかるコスト負担が大きい	17.1%	11.1%	17.6%	16.7%	13.6%	18.8%	15.8%
6 情報分野に長けた社員の不足	9.8%	18.5%	16.5%	12.1%	17.0%	6.3%	14.6%
7 活用方法に関する知識の不足	9.8%	11.1%	18.8%	12.1%	8.0%	12.5%	12.4%
8 経営者・社員が必要と感じていない	4.9%	3.7%	3.5%	3.0%	6.8%	0.0%	4.3%
9 その他（ ）	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
0 特に問題点・課題はない	4.9%	7.4%	5.9%	3.0%	3.4%	0.0%	4.3%

（複数回答）

デジタル化への問題点・課題として、「導入・維持にかかるコスト負担が大きい」と回答した事業先は15.8%と最も高く、以下「情報分野に長けた社員不足」14.6%、「セキュリティ確保への不安」13.6%となっております。「特に問題点・課題はない」とした事業先は4.3%に過ぎず、多くの事業先においてはデジタル化に向けた課題が山積している状況です。

主要経済指標

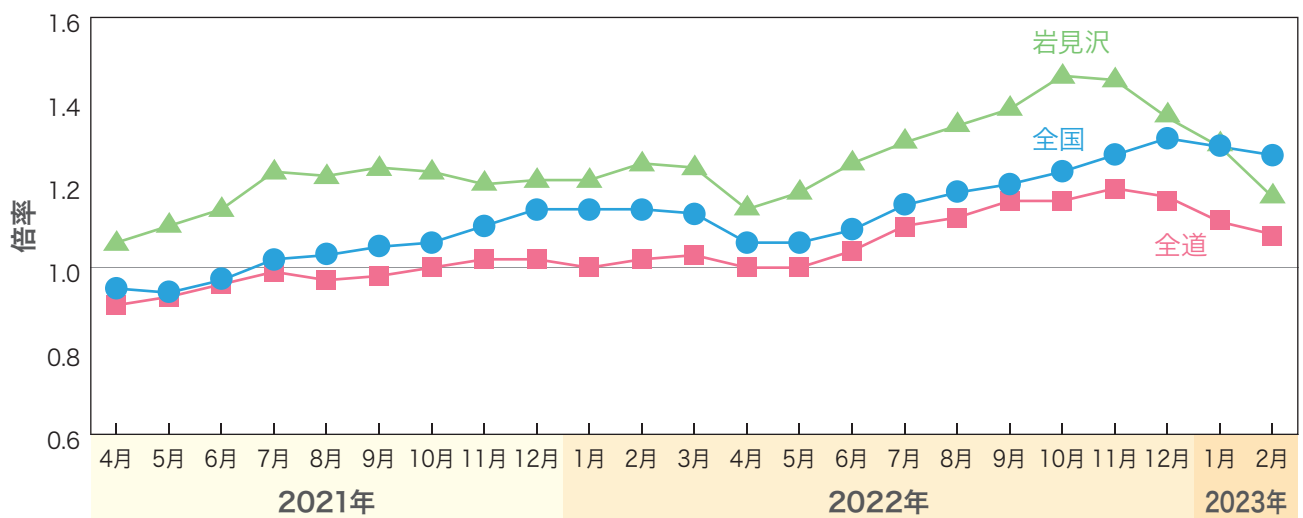
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2022年										2023年	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
岩見沢市	77,503	77,518	77,421	77,378	77,324	77,192	77,095	77,000	76,864	76,760	76,618	76,472
美 唄 市	19,807	19,795	19,759	19,742	19,738	19,698	19,646	19,584	19,552	19,501	19,485	19,431
三 笠 市	7,876	7,895	7,853	7,853	7,841	7,818	7,800	7,755	7,742	7,722	7,708	7,672
栗 山 町	11,212	11,199	11,208	11,197	11,182	11,176	11,176	11,146	11,130	11,109	11,084	11,063
南 幌 町	7,366	7,391	7,394	7,413	7,434	7,446	7,469	7,500	7,525	7,545	7,553	7,577
由 仁 町	4,846	4,842	4,838	4,841	4,837	4,834	4,818	4,804	4,790	4,784	4,766	4,758
長 沼 町	10,282	10,260	10,242	10,234	10,246	10,237	10,220	10,194	10,177	10,161	10,144	10,131
江 別 市	119,126	119,439	119,396	119,379	119,391	119,386	119,334	119,319	119,252	119,174	119,119	119,075

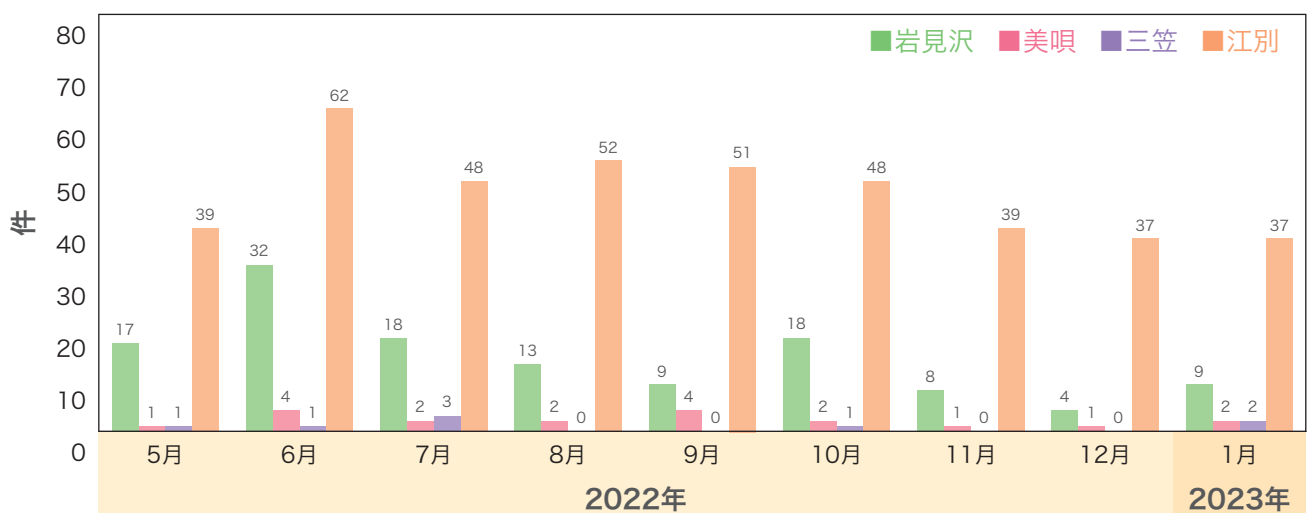
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

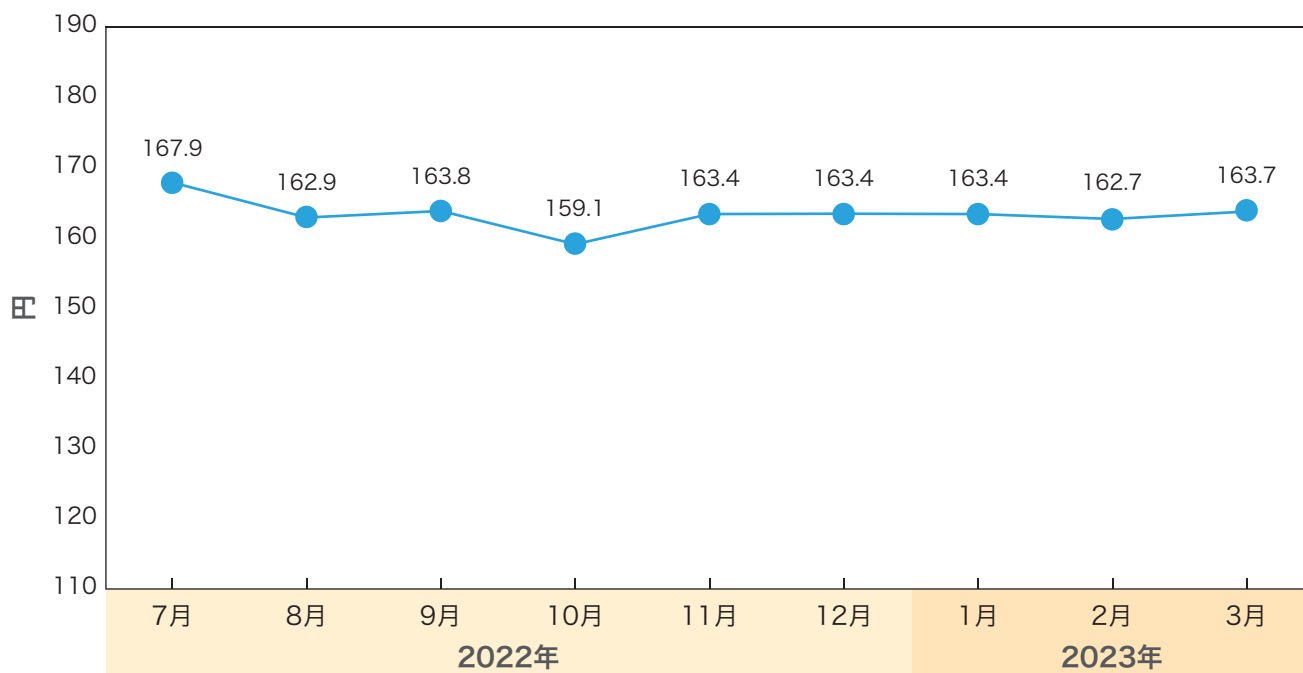


(資料：北海道建設新聞社)

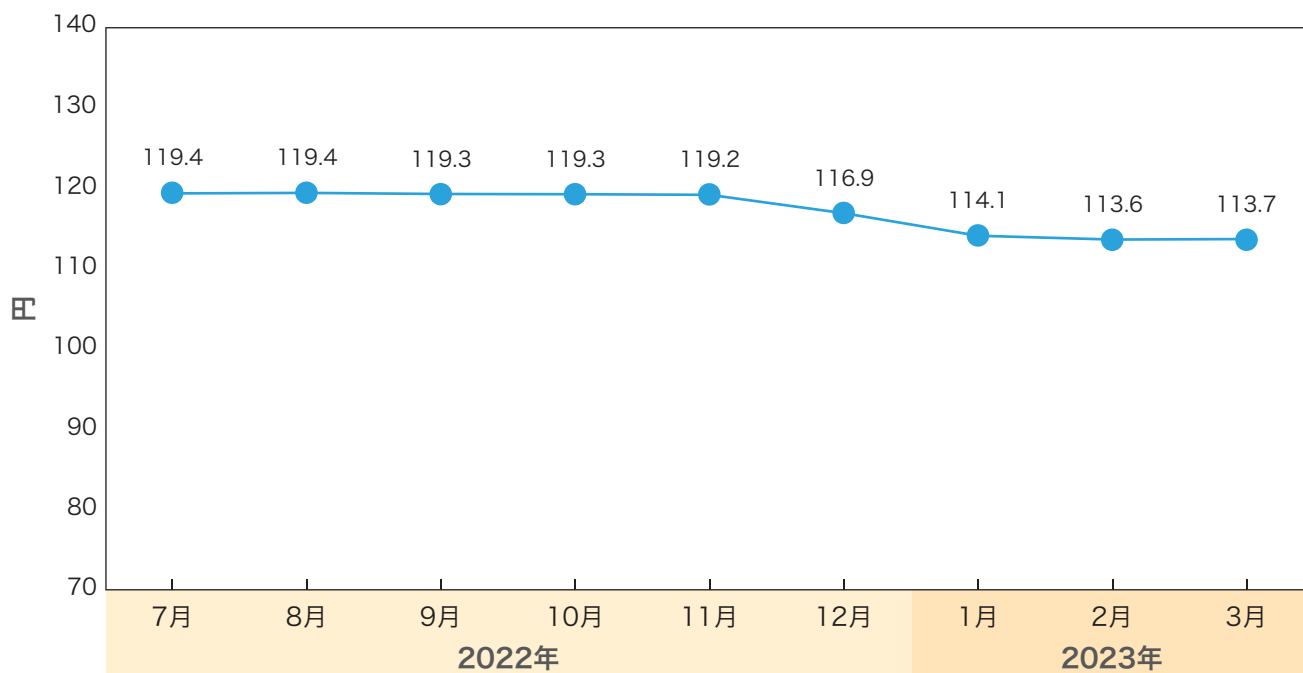
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫 地域支援部までご連絡ください。

バウムフラワー合同会社

取引店：江別支店

弊社は、江別市内で18年間「和食うどん店 花あかり」を営業する傍らで、令和2年12月より、長年研究・試作を続け、完成させた「ソフトバウムクーヘン」を販売しています。

幻の小麦と言われる江別産「ハルユタカ」、新鮮でこだわったぷりの「江別太田ファームさんの卵」、自然の甘さがおいしい「江別田中養蜂場さんのはちみつ」を使用した、しっとりふわふわに焼き上げたバウムクーヘンです。

花あかり店舗内にて販売している他、江別市内の商業施設や催事などでも販売しております。お祝いや記念品、手土産などの贈答用としても大変喜ばれる品物でございます。

江別市の食材にこだわった「花あかり ソフトバウムクーヘン」。ぜひご賞味ください！



〒067-0075 江別市向ヶ丘14-3
担当者：池田 宏樹 様
Tel 011-389-8030
Hp <http://hana-akari.info>

空知信用金庫の社会的取組

空知信用金庫では、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

そらちしんきんアグリセミナーの開催（令和5年2月27日）

本セミナーでは、税理士法人小島会計CEO小島拓也氏を招き、農業の持続的な発展や食と環境を次世代に承継等、次世代の担い手へ円滑な経営承継を含めた「農業経営の法人化・事業承継」を具体的事例等も交えて解説を行いました。農業分野においては、人口減少が本格化する社会にあっても食糧、農業、農村の持続性を高めながら食糧自給率の向上・食糧安全保障の確立を図る事としています。当金庫では今後も関係機関・団体と連携し、農業者に対する「本業支援」の一環としてサポートを行っていきます。



そらちしんきん

住宅ローン 特別金利

令和5年4月3日(月)～令和5年5月31日(水)
※募集総額が15億円に達し次第、募集を終了させていただきます。

お借入時年齢が50歳未満の方対象
充実した保障が
すべて金利上乘せ **なし**
※保険料は当金庫が負担

ご返済期間は**最長40年** ※保証会社の判断により短縮する場合があります。

変動金利型 新規受付利率

0.90%
年

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 **10年**
1.05%
年

固定金利期間選択型については固定金利期間終了後は、ご完済まで店頭基準金利から**年1.50%優遇**いたします。

スマホで簡単申込み **WEBで住宅ローン**

事前審査お申込みが **2ステップ** で簡単に!!!

ステップ1 空知信用金庫のホームページにアクセス

空知信用金庫で検索

スマホの方はここから

事前審査お申込み **365日・24時間対応**

ステップ2 サイト内の住宅ローン受付に必要事項を入力

当金庫ホームページ内の住宅ローンWEB受付のお申込み欄に必要事項をご入力いただき、事前審査お申込み完了!!

※しんきん保証基金保証付住宅ローンのみ事前審査後の本申込みは営業店にて受付いたします

◆◆◆◆ 特別金利を適用いただける方 ◆◆◆◆

①～⑩のうち、3項目以上のお取引が必要となります。

- 給与振込または年金受取(2項目分とします)
- 公共料金等の自動振替(公共料金・クレジット・保険料・税金等のうち2つ以上)
- カードローン
- しんきんカード(公共料金支払セットの場合は2項目分とします)
- 通帳スロト
- (※①～⑤は、すべて家族取引を含みます。)
- LINEおともだち登録
- 大学生以下のお子様が3名以上もしくはひとり親家庭の方
- 当金庫営業店舗所在市町(※)以外の地域から移住される方
- 勤務先が「健康企業宣言」もしくは全国健康保険協会から「健康事業所宣言」の認定を受けている企業の方
- 当金庫と提携する事業者からの紹介、または提携企業にお勤めの方
- 認定低炭素住宅・長期優良住宅の建設または購入の場合

※岩見沢市、美瑛市、三笠市、栗山町、由仁町、長沼町、南幌町、札幌市、江別市

「万が一への備え」に、「けがや病気への備え」を加えて、安心をお届けします。

	●リビング・ニーズ特約付団体信用生命保険 一般 団 信	●3大疾病保障特約付リビング・ニーズ特約付 団体信用生命保険 3大疾病 団 信	●団体信用就業不能保障保険3大疾病保障 特約付リビング・ニーズ 特約付団体信用生命保険 就業不能・3大疾病 団 信
死 亡	死亡または所定の高度障害状態に該当したら 住宅ローン残高が0円	死亡または所定の高度障害状態に該当したら 住宅ローン残高が0円	死亡または所定の高度障害状態に該当したら 住宅ローン残高が0円
3大疾病	余命6ヶ月以内と判断されたら 住宅ローン残高が0円	余命6ヶ月以内と判断されたら 住宅ローン残高が0円	余命6ヶ月以内と判断されたら 住宅ローン残高が0円
その他のケガや病気	がんや診断確定されたら 住宅ローン残高が0円	がんや診断確定されたら 住宅ローン残高が0円	がんや診断確定されたら 住宅ローン残高が0円
	脳卒中・急性心筋こうそくで ①所定の手術を受けたら、または②所定の状態が60日以上継続したら 住宅ローン残高が0円	脳卒中・急性心筋こうそくで ①所定の手術を受けたら、または②所定の状態が60日以上継続したら 住宅ローン残高が0円	脳卒中・急性心筋こうそくで ①所定の手術を受けたら、または②所定の状態が60日以上継続したら 住宅ローン残高が0円
	高血圧・糖尿病・慢性肺炎・肝硬変・慢性腎不全・ウイルス肝炎の6疾病を含む ほぼすべてのケガや病気で所定の就業不能状態が3ヶ月を超えて継続したら 以後の継続している期間においては 月々のローン返済が0円	高血圧・糖尿病・慢性肺炎・肝硬変・慢性腎不全・ウイルス肝炎の6疾病を含む ほぼすべてのケガや病気で所定の就業不能状態が3ヶ月を超えて継続したら 以後の継続している期間においては 月々のローン返済が0円	高血圧・糖尿病・慢性肺炎・肝硬変・慢性腎不全・ウイルス肝炎の6疾病を含む ほぼすべてのケガや病気で所定の就業不能状態が3ヶ月を超えて継続したら 以後の継続している期間においては 月々のローン返済が0円
	所定の就業不能状態が12ヶ月を超えて継続したら 住宅ローン残高が0円	所定の就業不能状態が12ヶ月を超えて継続したら 住宅ローン残高が0円	所定の就業不能状態が12ヶ月を超えて継続したら 住宅ローン残高が0円

詳しくは店頭または得意先係までお問い合わせください。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



店舗・ATMのご案内

店 舗							
					A T Mご利用時間		
					●平日	●土曜日	●土・日・祝日
岩見沢市内店	本店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45～19:00	9:00～17:00	
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00～18:00	-	
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00～18:00	-	
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00～18:00	-	
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00～18:00	9:00～17:00	
	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00～18:00	9:00～17:00	
南空知管内	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00～18:00	9:00～17:00	
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00～18:00	9:00～17:00	
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00～18:00	9:00～17:00	
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00～18:00	-	
	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00～18:00	-	
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00～18:00	9:00～17:00	
札幌市・江別市内	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00～18:00	-	
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00～18:00	-	
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00～18:00	-	
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00～18:00	-	
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00～18:00	-	
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00～18:00	-	
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00～18:00	-	
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00～18:00	-	
江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00～18:00	9:00～17:00		

店舗外ATMコーナー

			ご利用時間	
			●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	J R 岩 見 沢 駅 (共同ATM)	岩見沢市有明町南	9:00～21:00	9:00～21:00
	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00～21:00	9:00～21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00～19:00	9:00～17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00～17:00	－
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00～17:00	－
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00～19:00	9:00～18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00～17:30	－
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川1593番地の1	9:00～17:00	－
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00～17:00	－
三 笠 市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00～19:00	9:00～17:00



第147回地域企業景気動向調査
景況レポート 2023.4
発行 2023年4月30日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1
空知信用金庫 地域支援部
TEL 0126-22-1171
<http://www.shinkin.co.jp/sorachi/>